

## パブリックコメントの意見の概要及びその対応について

番号	該当箇所	御意見の概要	御意見に対する考え方
1	2 頁	全体としての被害軽減効果は低ため→ 全体としての被害軽減効果は低いため	御指摘を踏まえ、脱字を修正いたしました。
2		<p>昭和中期や後期には全国にサル公園が整備された歴史があるが、昭和後期・平成に入って多くは閉園された。餌付けによる放し飼いの形式のところが多かったため、閉園に伴って全頭捕獲がされたかどうかは確かでなく、サルが人為的に移入された個体であった場合、現在の個体群が移入個体であることを否定できない状況が多くある。</p> <p>そのため、人為的な移入が歴史的に疑われる場合、公的機関によりハプロタイプの解析によりその由来を明らかにすることを推奨し、移入個体群であったことが明らかであった場合、全頭捕獲を前提とした対策を取れるよう、追加いただきたい。</p> <p>(例：兵庫県豊岡市竹野町には竹野町猿賀嶋公園があり、広島から移入された個体群であることが町史から明らかである。現在の城崎個体群のハプロタイプは周辺と異なり移入個体群である可能性が否定できない。)</p>	<p>外来種防除の中でも特に鳥獣が対象となる場合には、排除の方針や捕獲個体の扱い等についての地域での合意形成が重要となり、その方針は地域毎の検討が重要となるため、原案通りとさせていただきます。</p> <p>なお、城崎 A 群については、兵庫県立大学、兵庫県森林動物研究センターでミトコンドリア DNA ハプロタイプを分析し、人為的移入群の分析を行っています。DNA データをネットワーク解析し、歴史的背景、空間的背景から、兵庫県北部に生息している個体群であることが確認されています(広島の個体群のミトコンドリア DNA ハプロタイプとは別の配列遺伝子です)。このため、現在は、絶滅が危惧されている孤立個体群として管理されています。</p>
3		<p>群れの全頭捕獲を含め、積極的に捕獲を進める方針を示すとともに、捕獲実施の意思決定の簡略化など、被害軽減に必要な捕獲が迅速に実施できるような管理の進め方そのものに反対です。</p> <p>サル動物福祉の観点より、サルの行動に詳しい専門家(捕獲ありきの考え方をお持ちの方以外)からの意見の聞き取りや有益な対策方法の試用と導入をしていただきたいと思います。</p>	<p>本ガイドラインは、ニホンザルの専門家ヒアリングや専門家検討会等の開催、関係機関への意見照会等を実施して、科学的、現場管理等の視点から検討したものになりますが、御意見は今後の施策の参考とさせていただきます。</p>